

グランシップ伝統芸能シリーズ
静岡能

子を思い、狂女となった母の
絶望と祈りの物語。

隅田川 観世 芳伸

霊力をもつ「御剣」をめぐる物語。

小鍛冶 山階 彌右衛門
白頭



《全席指定》一般 5,100円 子ども・学生 1,000円

※子ども・学生は28歳以下の学生、未就学児入場不可
※公演日1週間前に残席がある場合、定価より2割引になります(子ども・学生券を除く)
※グランシップ友の会会員特典対象事業 ※「静岡県高校生アートラリー」ポイント対象事業

静岡県内の中高生を
先着10名様までご招待します。
お申込みは(公財)静岡県文化財団
TEL.054-203-5714まで。

御殿場・裾野・三島地区発!
らくらくバスツアーも
ご用意しています。
(詳しくは裏面をごらんください)

チケット販売 お問い合わせ グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000 (10:00~18:30/休館日を除く)
グランシップホームページからは空席状況に応じてお好きな席を購入できます。コンビニでのチケット引取は手数料無料

<http://www.granship.or.jp>

2017年 1月22日 日

14:00開演
(13:30開場/17:00終演予定)

グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)

お着物でご来場の方に
先着でプレゼント進呈!

グランシップ 伝統芸能シリーズ グランシップ 静岡能



今年度の「グランシップ伝統芸能シリーズ」は、「色」をテーマに歌舞伎、能、文楽を開催して参りました。古の時より、日本人は様々な色を暮らしの中に取り入れ、それぞれの色に意味をもたらし、役割や機能性を見出してきました。

シリーズ最後の「グランシップ静岡能」では、能の「紅無^{いろうなし}」を象徴する演目「隅田川」と、変化に富んだ場面展開が見どころの「小鍛冶^{こくわい}・狂言・鈍太郎」を上演。

「紅無」の演目で能楽師がどのような色を感じ、演じるのか。役者の心の中に生みだされる色にせまります。

隅田川 (すみだがわ)

武蔵国・隅田川の渡し守(ワキ)が舟に乗る客を待っていると、そこへ都からの旅人(ワキツレ)が来て、後の方で騒がしいのは、女物狂いが面白く狂い舞っているからだと教え、舟を留めて狂女を待ちます。

狂女(シテ)は、「自分は都・北白川に住む者。一人息子を商人に連れ去られ、この隅田川の渡し場にまで探し求めてたどり着いたという。渡し守に舟に乗せてくれるよう頼みますが、渡し守はなかなか乗せようとしません。すると狂女は「隅田川の渡し守ならば、日も暮れ舟に乘れ」と言うべき」とやり込めます。また沖の鷗を見つ、「名にし負わば、いざ言問わむ都鳥、我が思う人は、ありやなしや」という業平の古歌を思い出し、業平は妻を、今は自分は我が子を探ねているが、その思いは同じだと歎きます。渡し守は哀れに思い、舟を出します。そして舟を漕ぎ出すと、向こう岸に人々が集まっているのが見えます。渡し守は舟を漕ぎながら、「二年前の今日の日、歳の程十二三ばかりの男の子を、商人が都から買い取つて奥州に下る途中、子供は病気になるて、二歩も歩けないと、この隅田川の川岸で倒れてしまった。子供は無情にも見捨てられ、土地の人の介抱もむなしく、私は都北白川の吉田の何某の子。死んだら塚を築いて葬り、墓の記しに柳を植えて下さい」と言い残して息を引き取った」と。今日人は人々が不憫に思つて申いをするのだと教えます。狂女はこの話を聞くうちに、その子供こそ我が子・梅若丸であると判り、泣き伏すのでした。同情した渡し守は、狂女をその塚に案内をしてやります。

塚の前で母は、鉦鼓を鳴らし、念仏を唱えます。その時、塚の中より我が子の声が聞え、姿が幻のように現れますが、母が抱きしめようとすると見失い、また塚の中へ消えてしまします。そして後には草の茂った塚が残るばかりでした。



小鍛冶 白頭 (こくわい しらがしら)

刀匠・三条小鍛冶宗近(ワキ)のもとに、帝より御剣を打ち奉るようにとの勅命を勅使(ワキツレ)が伝えに来ます。宗近は勅命を承るも、自分に相応しい相槌の者がいないことに困り、氏神の稲荷社に祈願に出掛けると、一人の童子(前シテ)が現れ、宗近を呼び止めます。不思議なことに、童子は宗近に勅命があったことを知っており、宗近に中国の剣の故事、そして日本武尊の「草薙の剣」の神話を語り聞かせます。「日本武尊は東夷退治の勅命を受け、東國に向かったとき、夷に四方を囲まれて火をかけられた。尊が剣を抜き四方の草を薙ぎ払うと、剣の霊力が嵐となって火焰を吹き返して、遂には夷を焼き尽くして退治することが出来たのである」。これも草薙の剣の霊徳であり、宗近がこれから打とうとする御剣も、それらに劣るものではないと宗近を励まします。

宗近が名を尋ねると、童子は御剣を打つ時節には必ず神通力をもつて手助けをすることを約束して、稲荷山の方へ姿を消します。(中人)

宗近は鍛冶壇に注連縄を張つて祀り、祝詞を奏上します。すると、稲荷の神使の霊狐(後シテ)が現れて、宗近は恐悦の心を持ちながらも、鉦を取り出し槌を打ちます。霊狐も相槌を打ち、その音は天地に響き渡るのです。

やがて、御剣が打ち上がると、表には「小鍛冶宗近」の銘を入れ、霊狐は裏に「小狐」と銘を打ちます。天叢雲の剣にも等しいこの天下第一(一)の、二人(二)の銘が入った御剣(みつるぎ)(三)で、四海(四)を治め、五穀(五)豊穰を寿ぎ、霊狐は御剣を勅使に捧げると、霊狐は叢雲に飛び乗ると、稲荷山の峰にと帰って行くのでした。



公演当日、お着物でご来場の方に先着でプレゼント進呈(先着順)

平成29年度「グランシップ伝統芸能シリーズ」

数量限定

分かりやすい解説付きのものから、本格的な公演まで1年を通してお楽しみいただけます。下記4公演で10,000円のオトクなセット券も販売決定。完売必至、お早めに。

2017年6/26(月) 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室	2017年9月下旬 グランシップ静岡能 能楽入門公演	2017年10月 人形浄瑠璃 文楽	2018年1/27(土) グランシップ静岡能
---------------------------------	----------------------------------	-------------------------	---------------------------

4公演セット(計13,300円)が10,000円! 3,300円もオトクに楽しめます。

シリーズセット券友の会先行販売 2017年4月2日(日)~8日(土)	一般発売 2017年4月9日(日)	*セット券は数に限りがあります。予定枚数になり次第終了します。
---------------------------------------	----------------------	---------------------------------

本場香港の飲茶ランチ付き! 久能山石垣いちご狩り& グランシップ静岡能公演ツアー

御殿場・裾野・三島地区発!
らくらくバスツアーをご用意。



【行程】
御殿場市民会館(8:00発)⇒裾野駅(8:35発)⇒三島駅(8:50発)⇒久能山石垣いちご狩り⇒ホテルアソシア静岡※昼食⇒「グランシップ静岡能」鑑賞(14:00開演)⇒三島駅(18:15頃)⇒裾野駅(18:35頃)⇒御殿場市民会館(19:10頃)

旅行代金/おひとり様 15,790円(バス代、昼食代、各入場料含む)
出発日/2017年1月22日(日)日帰り
主催・お申込み/御殿場総合サービス(株) TEL.0550-88-5771

交通アクセス

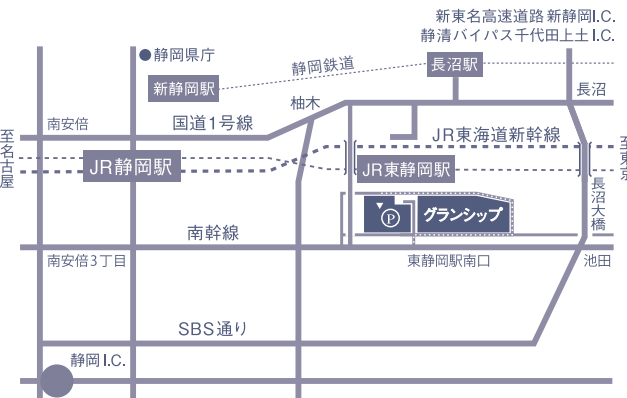
- ・JR東静岡駅南口隣接。
- ・静岡鉄道長沼駅下車、徒歩10分。
- ・車で東名高速道路静岡I.C.から20分、新東名高速道路新静岡I.C.から15分、静岡バイパス千代田I.C.から10分。
- 公演当日は混雑が予想されますので、公共の交通機関をご利用ください。

託児案内

ボランティアスタッフによる託児サービス(無料、2歳以上の未就学児に限る)をご希望の方は、公演1週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

車椅子でご来場の方は、公演前日までにご連絡ください。

【託児サービス及び車椅子でご来場のお問い合わせ】
(公財)静岡県文化財団 事業課 TEL.054-203-5714



〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
ホームページアドレス <http://www.granship.or.jp/>

